

くしろ市議会だより

発行 釧路市議会
 編集 議会広報特別委員会
 釧路市黒金町7丁目5番地(議会議務局)
 TEL 31-4581 FAX 23-7679
 メールアドレス
 gi-gikai@city.kushiro.lg.jp
 URL ホームページアドレス
 http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html
 フェイスブックページアドレス
 http://www.facebook.com/kushiroshigikai

(12月定例会は、
12月2日(水)午前10時から開会の予定です。)

ぜひ、傍聴に
 お越し下さい!

議会日程

8/31	議会運営委員会 議会広報特別委員会
9月定例会(会期29日間)	
9/3	市政報告 市提案採決
9/3	石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会 都心部市街地整備特別委員会
9/9~9/11	質疑・一般質問
9/14~9/17	常任委員会審査
9/17	議会広報特別委員会
9/18	常任委員会採決 委員長報告採決
9/24~30	決算審査特別委員会審査
10/1	決算審査特別委員会採決 委員長報告採決

9月定例会の概要

9月3日から始まった釧路市議会9月定例会は、10月1日に29日間の会期を終え閉会しました。

初日には、カナダ・バーナビー市との姉妹都市提携50周年を記念し、両市の友好関係を末永く進展させることを誓う「特別決議」を全会一致で採択しました。

9日から11日までの本会議では、16人の議員が登壇して市政全般にわたる議論を行い、このうち7人の議員からは、「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について質問がありました。

18日の本会議採決では、市長から提出された27年度一般会計補正予算など22件の議案のほか、「林業・木材産業の成長産業化を求める意見書」など4件を原案どおり可決しました。

24日からは各会計及び企業会計決算審査を行い、10月1日の本会議採決では、決算議案8件を認定し、人事案件3件に同意しました。

(審議結果は4面に掲載)
 (文責・議会広報特別委員長 金安潤子)

合併10周年記念 中学生模擬議会開催

中学生に議会制度の体験を通して、市政の仕組みや市議会の役割を知ってもらい、まちづくりへの関心を高めてもらうことを目的に10月10日、中学生模擬議会を市議会議場で行いました。

この模擬議会では、市内の各中学校から選出された17人の議員が市政について市長をはじめとする市理事者に質問したほか、まちづくりに責任を持って発言し行動できる日に備えて学業に励むことを趣旨とする決議を全会一致で採決しました。



意見交換会を実施

民生福祉常任委員会では、9月16日に「地域での見守り活動の現状と課題」をテーマに、意見交換会を実施しました。

民生委員からは、町内会や民生委員協議会の努力で高い補充率を持つて、全市を網羅し安否確認を行っているほか部会ごとに研修を行っていることなどの説明を受け、意識の高さや市民の命を守るという強い使命感を感じました。



おんべつ学園を視察

民生福祉常任委員会では、9月16日に障がい者支援施設おんべつ学園を訪問しました。

同施設は、段差を解消しエレベーターを設置するなど入所者に配慮した設備が整っているほか、3階に災害時の備蓄や、300人が避難できるスペースが整備されており、防災面でも優れた機能を持つ施設であることを確認しました。



鳥取南団地と緑ヶ岡公園を視察

9月16日、経済建設常任委員会は、建設中の鳥取南団地と緑ヶ岡公園を視察しました。

鳥取南団地では、担当課から市営住宅では初となるユニバーサルデザイン採用や津波避難ビルとしての機能について説明を受けました。

また、緑ヶ岡公園では、公園概要の説明のほかに、1074平方メートルの広さがある遊具広場において整備中の大型複合遊具や大型滑り台など、幼児や児童を対象にした遊具の説明も受けました。



姉妹都市親善訪問

7月22日から24日の日程で、月田光明議長、松尾和仁議員、山口光信議員、工藤正志議員の4人が湯沢市を、7月29日から31日の日程で、畑中優周副議長、大澤恵介議員、伊東尚悟議員、岡田遼議員の4人が鳥取市を公式訪問しました。

両市への訪問を通じて友好の絆と相互理解を深め、今後も末永く交流していくことを確認しました。

党派略称説明

自民ク 自民クラブ
 市政進 市政進クラブ

市民連合 市民連合議員団
 公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団
 新創ク 新創クラブ

9月9日(水)～9月11日(金) 今定例会では、16人の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

9月9日(水)



新創ク 大越 拓也 議員

「各種検定試験に対する認識は」

問 算数検定や漢字検定、英語検定は全国統一試験であり、個々のレベルに合わせて級を選択できるため、全国での立ち位置がわかり、弱点を集中して勉強することが期待できる。これらの検定試験についての認識を聞きたい。

答 各種の検定試験は、児童生徒が個々の力に応じて目標を立てて取り組めるため、学びの意欲喚起として有効な方法である。鳥取小学校での算数検定の様子を見たが、地域が一体となり子ども達を育てる観点からも望ましいと姿と認識している。



自民ク 伊東 尚悟 議員

「地方創生に向け独自のアイデアは」

問 「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の骨子は、一つ一つが当然行政として目指すものであり、これまでも掲げてきた内容である。地方創生はアイデア勝負とも言われているが、どう考えているか。

答 骨子は作業部会で地域の課題や解決策に加えて、地域特性をいかに生かすかを議論した結果、幅広い分野にわたる内容となった。地域特性をいかに生かすかに知恵を絞る施策を講じることがアイデアの本質であると考えており、骨子の施策一つ一つが地域にとって重要と認識している。



公明 河合 初恵 議員

「ごみに対する子どもたちの意識向上を」

問 学校が出前講座や域校連携を通じて、ごみに対する学習を継続的に行うことで、子どもたちは環境問題や道徳観・正義感を培うことができると考える。見解を聞きたい。

答 小学4年生では、社会科の中で郷土読本「くしろ」やごみ問題に関する副読本「きれいなくらし」を用いて、ごみ処理の流れや分別などについて詳しく学習している。また、ごみに関する授業として、体験学習や出前講座の活用等についても各学校へ改めて周知していきたい。



市政進 金安 潤子 議員

「違法看板撤去に向けた市の対応は」

問 道路などの公有地に無許可の看板が数多く設置されている。市民の有志が撤去を呼びかける活動をしているが、対応に応じない業者もいる。これら違法看板の撤去に向けた市のこれまでの対応と今後の対応について聞きたい。

答 違法看板については、撤去指導や関係機関と連携しさまざまな対応してきたが、是正されていない状況にある。今後は、行政処分など必要な手続きを取りながら、しっかりと対応していきたい。



共産党 工藤 正志 議員

「乳幼児等医療費助成の対象拡大を」

問 乳幼児等医療費助成に關し、医療費助成の対象を3歳未満から4歳未満までに引き上げた場合の市の負担額を聞きたい。

答 当市の医療費助成は、道の基準に準拠した内容で実施しており、現行制度では3歳未満までは、課税・非課税に関わらず、窓口での自己負担は初診時の一部負担だけになっている。仮に4歳未満まで対象を拡充し、利用頻度等を現在と同程度にした場合、さらに必要となる額は2000万円程度になると考えている。



市民連合 岡田 遼 議員

「総合戦略はわかりやすく市民に示すべき」

問 「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の骨子は、わかりにくく方向性が市民に伝わりづらい。また、若年層の流出は市にとって大きな課題であり、転出超過による社会減に対応した施策に力を入れるべきと考える。見解を聞きたい。

答 「市民に向けた明確なメッセージを」などの意見を踏まえ、総合戦略としての見せ方を検討・改善していきたい。人口減少に立ち向かうためには、若い世代の雇用の創出を第一に考えなければならず、若者世代の意見を踏まえ、具体的な施策を検討していきたい。

9月10日(木)



新創ク 森 豊 議員

「市民球場の人工芝化の検討状況は」

問 市民球場の整備に関し、6月に高野連と軟野連から人工芝化の要望があった。人工芝化により、天候による試合の中止が減りスムーズな大会運営につながるほか、プロ野球一軍戦誘致や道外からの合宿誘致にも優位に働くと考える。検討状況を聞きたい。

答 施設稼働率の向上やランニングコストの削減、各種大会・合宿誘致での優位性から、人工芝による整備が望ましいとの検討結果を得た。今後、財源確保に努め、人工芝による市民球場の整備・拡充に取り組んでいきたい。



自民ク 山口 光信 議員

「WHO健康都市連合への加盟検討を」

問 当市の平成22年度における市民一人あたりの医療費は全国平均よりも高い。市全体で健康増進に取り組むために、市町村健康増進計画「健康くしろ21」の市民周知のほか、WHO健康都市連合(国際保健機関)へ加盟してはどうか。

答 WHO健康都市連合の考え方や活動の方向性は、「健康くしろ21」と合致するものと認識している。同連合への加盟によって、健康づくりに関する情報収集もできることから、他都市の事例等を調査しながら、加盟に向けて検討していきたい。



市政進 鶴間 秀典 議員

「中鶴野地区の大雨対策として河川改修を」

問 台風18号の影響により、中鶴野地区の一部が冠水の被害を受けた。河川改修に向け、今年度は調査費を計上しているが、今後のスケジュールを具体的に示してほしい。

答 同地区の地区内排水の放流先である星が浦川の流下能力は十分でなく、抜本的対策としては河川改修が必要である。現在、地権者との協議を進めており、今年度に測量調査、28年度に実施設計、29年度以降は地権者との用地交渉を行い、用地取得後には、河川改修工事に着手したい。



共産党 村上 和繁 議員

「陸自災害対処訓練の周知不足に抗議を」

問 8月末に陸上自衛隊北部方面隊が行った災害対処訓練「ノーザン・レスキュー2015」は、事前に市民への十分な説明がないまま行われた。このことに対し、強く抗議すべきと考え、市の見解を聞きたい。

答 訓練主体である陸上自衛隊において、訓練概要の広報や市民周知を図ってきたが、結果として、事前周知が必ずしも十分でなかったと認識している。陸上自衛隊へは、車両移動等の事前広報などが十分ではなかったことを伝え、今後の訓練に反映するよう要請した。



市民連合 宮田 団 議員

「手話条例の制定に向けた市の取り組みは」

問 各自治体では「手話条例」の制定が進んでおり、手話の理解促進や普及に積極的に取り組んでいる。当市でも手話条例制定に向けた取り組みが必要でないか。

答 聴覚障がい者のコミュニケーション支援事業として、これまで手話奉仕員養成講座や手話研修会を実施し、今年度は広報紙を活用した手話への理解促進、普及に取り組んでいる。手話を広める方策や手話条例の制定に向けて、7月に関係団体との意見交換を行ったほか、11月には協議会を設立してさらに協議を進めていきたい。



自民ク 続木 敏博 議員

「港まつりの歩行者天国継続へ向けた協議を」

問 北大通歩行者天国の実行委員長から、「港まつりの協賛行事である歩行者天国を今年で最後としたい」との発言があった。現時点で、来年以降の方向性について聞きたい。

答 商店数の減少などにより人材を確保できない課題があるなどとして、来年度以降継続が難しいと伝えられたが、同実行委員会の中には、継続したいとの意見もあると聞いており、まずは内部での話し合いをお願いした。市としては、実行委員会に対し、来年に向けての協議を継続したい旨を伝えている。

委員会審査

今定例会では、3常任委員会と4特別委員会の審査を行ないました。その中から、主な審査内容をお知らせします。

3常任委・4特別委

「介護保険法の改正により、市町村の一般会計から介護保険特別会計への繰り入れが可能になった。これまで国は、「繰り入れは適当ではない」としてきたが法改正の内容を勘案し、市として独自に一般財源を繰り入れて、保険料の軽減を図るべきでないか。」



共産党 梅津 則行議員

「介護保険法改正に伴い一般会計からの繰り入れを」

9月11日(金)

本会議

質疑・一般質問

「国からは「制度化された仕組み以外の一般財源投入による減免等は適当ではない」旨が改めて示されており、市として独自に一般財源を繰り入れることは難しいと考えている。」



市民連合 渡辺 慶蔵議員

特定貨物輸入拠点港湾の指定と埠頭運営のあり方は

「特定貨物輸入拠点港湾」の指定と埠頭運営のあり方について、現状と今後のスケジュールを示してほしい。」

「釧路港は3月に「臨海部産業エリア形成促進港」の指定を受け、民間による埠頭運営が可能になったことから、今後、運営事業者からの申請を受け、民間による一体的・効率的な埠頭運営を目指していきたい。」

「愛国浄水場の更新等により、財政上厳しくなることが見込まれるため、将来的に水道料金の改定は不可欠であることだが、有識者を入れた審議会において、市民や大量に水を使う事業者が理解し納得できる料金体系になるよう検討を進めてもらいたい。市の見解を聞きたい。」



自民党 戸田 悟議員

「釧路大が企業を創業できる条件整備を」

「釧路公立大学として企業を起し、学生が経済学や経営学を実践的に学び立証することが、卒業生を釧路に定着させ、地域経済を牽引する人材に育てていくことから、必要条件を早急に整え実行すべきと考えている。見解を聞きたい。」

「人口減少社会に立ち向かう上では、次世代を担う若者の人材育成は重要な視点であり、そのための環境が整っているのもこの地域の特性である。市と公立大学、さらに他の高等教育機関との連携を総合戦略の中に位置付けられるよう、協議を進めていきたい。」

「市立病院増改築事業の基本実施設計」「設計事務所の選定ポイント」



共産党 松永 俊雄議員

「生活保護受給者の無料お悔やみ欄の利用について」

「生活保護受給者から、葬儀に伴う死亡広告は無料でも掲載できないと市や葬儀社の職員から指導された」と聞いたが、差別的対応で憤慨している。こうした事情を聞きたい。」

「生活保護法の葬祭扶助では有料の新聞広告は適用外となるが、市で定めた取扱要領において無料のお悔やみ欄との区別がされていなかった。ご遺族には深くお詫び申し上げます。まずは職員や葬儀会社へ周知徹底を図ったが、今後は、取扱要領の内容を再精査した上で、適切に対応していきたい。」

用語解説

- ※1 ノーザンレスキュー2015 陸上自衛隊北部方面隊による「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対処計画」の検証と参加機関の災害対処能力向上のための訓練のこと。釧路市で8月26日から8月30日までの日程で実施された。
※2 特定貨物輸入拠点港湾 ばら積み貨物の輸入拠点としての機能を高めるべき港湾として国土交通大臣が指定する港湾のこと。
※3 臨海部産業エリア形成促進港 民間事業者が一体的に運営する埠頭などにおいて、バルク貨物等の輸送の効率化を促進する区域のことを「臨海部産業エリア」といい、そのエリアを形成し、地域の産業の国際競争力の強化を図る港湾を「臨海部産業エリア形成促進港」という。釧路港は全国で3港目に指定となった。

「ホルムスク市を訪問」

釧路市は姉妹都市提携40周年を記念して、8月22日から8月26日の日程で、ロシア・ホルムスク市へ公式訪問団を派遣しました。この訪問団へは市議会から月田光明議長、姉妹都市等交流促進議員連盟の渡辺慶蔵理事長、大越拓也監事が参加しました。現地では盛大な歓迎を受け、記念式典においては、今後も友好の絆を強めていくことを確認した調印書が取り交わされました。

総務文教常任委員会

山口 光信委員長

定員適正化計画策定

「定数削減に係る民間委託の方向性は」

「釧路市定員適正化計画の策定に関し、平成28年度から32年度までの5カ年計画で市職員定数65人の削減を目標としている。今後、アウトソーシングを推進する中で、民営化・PFI・民間委託・指定管理者制度などの手法を活用しているのが、民間委託を予定しているのはどのような業務なのか。」との質問がありました。

理事者は、「具体的に明示できる段階ではないが、保育園や学校給食センターを民間委託の可能性があるものと考えている。今後は担当課との調整や職員団体と協議をしながら検討していきたい。」と答えました。

経済建設常任委員会

宮田 団委員長

水道料金の改訂問題

「利用者が納得できる料金体系の検討を」

「愛国浄水場の更新等により、財政上厳しくなることが見込まれるため、将来的に水道料金の改定は不可欠であることだが、有識者を入れた審議会において、市民や大量に水を使う事業者が理解し納得できる料金体系になるよう検討を進めてもらいたい。市の見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は「水道料金の改定は市民や大口水道利用者に大きな負担をかけることから、理解を得るためにもさまざまな情報を提供することが重要と考えている。今後、料金改定にあたっては、基本料金等どのような料金体系にすべきかをしっかりと考慮し、取り組みを進めていきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会

梅津 則行委員長

市立病院増改築事業の基本実施設計

「設計事務所の選定ポイントは」

「市立釧路総合病院増改築事業の基本実施設計について、プロポーザル方式により設計事務所が選定されたが、どのような点が評価されたのか。」との質問がありました。

理事者は、「病院増改築事業にあたり、専門的な知識や応用力などの提案力を評価した。また、増改築工事において総務省から建設単価の抑制も求められているが、工事期間中の患者や市民への利便性に配慮していることなど独自の提案が示され、他者と比較し優れていた。今後は、病院の利用に支障を来さないように十分配慮しつつ、基本実施設計を進めていきたい。」と答えました。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

続木 敏博委員長

石炭火力発電所建設

「住民説明会の具体的な予定は」

「釧路火力発電所の立地予定場所が住宅地に隣接していることから、早い段階で地域住民の理解を得ていくことが重要と考える。住民説明会の具体的な予定は聞いているか。」との質問がありました。

理事者は、「株式会社釧路火力発電所が8月3日に火力発電所設置に関する説明会を行った。今後は、環境アセスメントに基づく住民説明会を開催するほか、節目ごとに説明があるものと考えており、市としても、丁寧な説明を関係者にお願している。」と答えました。

都心都市街地整備特別委員会

渡辺 慶蔵委員長

釧路駅周辺の道路網計画目標

「調査はスピード感をもって進めるべき」

「釧路駅周辺整備に関し、災害時における道路網の課題と平常時における道路網の整備効果を調査することだが、いずれもスピード感をもって進めるべきと考える。道路網の計画目標を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は、「今回の調査は、平成42年までを計画目標とする釧路都市圏の都市交通マスタープランに基づき、防災やまちづくりの観点から釧路駅の南北を連絡する道路網を検討するため実施する。この調査結果をもとに有識者検討部会で検討し、今年度末までには一定の方向性を示したい。」と答えました。

各会計決算審査特別委員会

森 豊委員長

高齢者の在宅支援

「看護小規模多機能型事業所の新規整備を」

「高齢者の在宅生活を支援するため、介護と看護の機能を併せもつ看護小規模多機能型居宅介護の必要性が高まっている。新規整備に向け早急に対応すべきでないか。」との質問がありました。

市長は、「第6期計画期間における在宅介護サービスの提供は、現状の訪問看護事業所等における人員増で対応が可能と判断している。今後介護サービスが不足することとなった場合には既存の事業者に見守り小規模多機能型居宅介護への転換を働きかけていくことは、可能である。」と答えました。

【各会計決算審査特別委員】

- ◎森 豊 ○伊東尚悟
- 山口光信 大越拓也 松橋尚文
- 鶴間秀典 梅津則行 岡田 遼
- 渡辺慶藏 (◎委員長○副委員長)

企業会計決算審査特別委員会

三木 均委員長

魚揚場事業会計のあり方

「不良債務解消後の方向性を聞きたい」

「市設魚揚場事業会計は、平成30年度に不良債務を解消する計画であるが、企業会計として継続することが難しいと考える。会計制度のあり方について見解を聞きたい。」との質問がありました。

市長は、「不良債務の解消は、経営健全化計画に基づき着実に進められており、今後とも計画期間内に解消できるよう取り組んでいきたい。今後、水揚高の大幅な増加が見込めない限り、企業会計で運営することは難しく、会計制度のあり方についても検討していく。」と答えました。

【企業会計決算審査特別委員】

- ◎三木 均 ○大澤恵介
- 続木敏博 河合初恵 工藤正志
- 畑中優周 松尾和仁 佐藤勝秋
- (◎委員長、○副委員長)

バーナビー市訪問団
歓迎式典を開催

9月4日、釧路市の姉妹都市であるバーナビー市の訪問団を歓迎する式典を市議会本会議場で開催しました。訪問団にはコリガン市長をはじめ、市議会議員、観光協会や商工会議所の代表など26人が参加されました。

月田光明議長は挨拶で、「釧路市議会の深い友愛の思いを受けとめていただき、友情の輪がさらに広がることを願う特別決議を行った」と述べました。その後、姉妹都市等交流促進議員連盟の草島守之会長は、市議会が採択した特別決議文を英語で朗読し、決議文を刻んだ記念楯をコリガン市長に贈呈しました。



平成27年第5回9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(認定・同意)となったもの (26件)

予算	市長提出	議案
平成27年度国民健康保険別診療所事業特別会計補正予算	その他	工事請負契約の締結に関する件(平成27年度武佐公営住宅R14耐震改修建築主体工事)
平成27年度介護保険特別会計補正予算		工事請負契約の締結に関する件(平成27年度柏木公営・改良住宅KI耐震改修建築主体工事)
平成27年度動物園事業特別会計補正予算		福祉部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
平成27年度水道事業会計補正予算		夜間急病センターの指定管理者の指定の件
平成27年度下水道事業会計補正予算		釧路工業技術センターの指定管理者の指定の件
平成26年度工業用水道事業会計決算認定の件		西港緑地等の指定管理者の指定の件
平成26年度公設地方卸売市場事業会計決算認定の件		阿寒町行政センターの所管する公の施設の指定管理者の指定の件
平成26年度市設魚揚場事業会計決算認定の件		功労者表彰について同意を求める件
職員の再任用に関する条例及び職員退職手当支給条例の一部を改正する条例		教育委員会委員の任命について同意を求める件※
阿寒町コミュニティ施設条例の一部を改正する条例		公平委員会委員の選任について同意を求める件
訴えの提起の件		
意見書	議員提出	議案
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか8大臣)		
鉛弾の使用・所持・販売・流通の規制を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)		
ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか4大臣)		
地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)		
決議	釧路市・バーナビー市の友好交流関係を促進する特別決議	

※「教育委員会委員の任命について同意を求める件」の採決に関して、共産党の4人が退席しています。

◎ 賛否が分かれたもの (16件)

件名	会派名[()内は議員数]※	自民(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公明(3)	新創(3)	審議結果
予算	平成27年度一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	可決
決算	平成26年度各会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	認定
	平成26年度病院事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	認定
	平成26年度水道事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	認定
	平成26年度下水道事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	認定
	平成26年度港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	認定
条例	個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
	情報公開・個人情報保護運営審議会及び釧路市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	×	○	○	○	可決
	市税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
	手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
その他	生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	○	○	×	○	○	○	可決
意見書	議員提出	議案						
安全保障関連法案の徹底審議と国民の合意なしに成立させないよう求める意見書		×	○	○	×	×	○	否決
平和安全法制整備法案及び国際平和支援法案の今国会成立に反対し廃案を求める意見書		×	○	○	×	×	×	否決
生活保護費削減及び住宅扶助・冬季加算削減の撤回・中止を求める意見書		×	○	○	×	×	×	否決
マイナンバー制度の施行中止・撤回を求める意見書		×	×	○	×	×	×	否決

◎ 請願・陳情(3件)

(1) 審査が終了したもの

○採択 ×不採択

件名	会派名[()内は議員数]※	自民(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公明(3)	新創(3)	審議結果
陳情	安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書の件	×	○	○	×	×	×	不採択
	平和安全法制整備法案及び国際平和支援法案の廃案を求める意見書の件	×	○	○	×	×	×	不採択

(2) 取り下げとなったもの

件名	提出年月日	審議結果
陳情	釧路西IC開通に伴う「道の駅」の整備に関する件	平成27年9月7日 取り下げ承認

※ 公明の議員数は4人ですが、月田議長が採決に加わっていないため3人としています。